



横参道のサクラ（3月下旬～4月上旬）

全国的にも貴重な阿蘇神社の横参道を桜の花びらが彩ります（桜門は平成28年熊本地震で倒壊、令和5年中には復旧予定です）。



バラ祭り（4月下旬～6月上旬）

西日本最大級のバラドーム温室に450種4,000株の世界中のバラが咲き誇ります。期間中は「バラ祭り」としていろいろな催しが開催されます。

ミヤマキリシマ

仙酔峡（5月上旬～中旬）、草千里ヶ浜・阿蘇山上一帯（5月下旬～6月上旬）

阿蘇中岳と高岳の北側中腹の溪谷にミヤマキリシマ(ツツジ)が咲き乱れます。その美しさは仙人も酔うほどだといわれ、仙酔峡と名付けられました。

また、草千里ヶ浜・阿蘇山上一帯でもミヤマキリシマが鮮やかな紅紫の花を咲かせます。



仙酔峡のミヤマキリシマ



草千里ヶ浜のミヤマキリシマ

長寿ヶ丘公苑（ツツジ）（4月下旬～5月上旬）

狩尾地域の方々が管理する長寿ヶ丘公苑に1万株のツツジが山肌にピッシリ。阿蘇五岳が一望できるビュースポットとしても楽しめます。トイレ・駐車場も完備。



スズラン自生地（5月頃）

日本最南端のスズラン自生地として知られる「波野のスズラン」。開花時期には波野高原に5万株の花が咲きます。



自然豊かな環境や伝統をいかした祭り、長い歴史のなかで変わらぬ守り伝えられた神事など、阿蘇市には独特の祭りがあります。
また、地域活性化などを目的に、市民主体の催しが各地域で行われています。
これらの祭りは、1年を通して阿蘇の魅力が堪能することができます。

先人から受け継がれた歴史ある祭り

おんだ祭り（御田植神幸式・7月）

阿蘇大明神が阿蘇開拓と農耕の道をひろめた神徳をたたえ、年々の豊作を祈るもので、青々とした、阿蘇の田園の中をゆったりと進む宇奈奈利は、盛夏の阿蘇谷にいにしへの古式ゆかしい絵巻を見るような感激を与えてくれます。



神楽フェスティバル（10月）

県内外から多くの神楽団体が集い、舞を披露しあう神楽の祭典。
平成29年には初めての夜神楽を披露



火振り神事（3月）

農業神が姫神をめとる「御前迎え」の儀式の一環で、御神体を迎えるため、繩の先の芽束に火をつけて振り回す様子は美しく幻想的。

自然と伝統を生かした祭り

大阿蘇元気ウォーク（9月頃）

雄大な自然を感じながら市内の各史跡や名所をゆっくりと堪能できるウォーキングイベント。



大阿蘇火の山まつり（8月）

市民の夏祭りとして長年親しまれてきた祭り。